

「シャロンの花」同窓会報 第24号

2020年3月1日発行



(2015/12/05 撮影)

<2020年度総会・懇親会のお知らせ>

日時 5月16日(土) 総会 午後2時～(受付1時30分～)
懇親会 午後3時～(受付2時30分～)

場所 三井ガーデンホテル千葉
千葉市中央区中央1丁目11-1 TEL043-224-1131

会費 7,000円(当日受付にてお支払いください。)

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も多数ご出席いただいております。本年は昭和54卒高校第31回生の皆さんが幹事団を組んで取り組みますが、卒業生はどなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。

お問合せ・お申込みは、4月30日までに同窓会事務局
(TEL043-306-6960)



(三井ガーデンホテル千葉)

千葉県立千葉東高等学校同窓会報「シャロンの花」24号です。

今後とも同窓生の皆様のご協力をお願いします。基金の振込にご協力をお願いします。

【ゆうちょの振替口座 00160-8-148932】

発行者 千葉県立千葉東高等学校同窓会 会長 山中 操

編集部 千葉県立千葉東高等学校同窓会 事務所 〒260-0855 千葉市中央区市場町2-15 渡辺ビル205

令和元年度 同窓会 総会の開催



＜総会＞

令和元年5月18日に三井ガーデンホテル千葉にて令和元年度の総会・懇親会が行われました。

内容につきましては、

1. 開会の辞、2. 会長挨拶、3. 名誉会長挨拶、
4. 来賓紹介・挨拶、5. 本年度転退職・新任の先生及び新年度幹事紹介、6. 出席教職員（卒業生の本校職員を含む）の紹介、7. 議長選出、
8. 議題、

- (1) 第1号議案 平成30年度事業報告
- (2) 第2号議案 平成30年度決算報告・監査報告
- (3) 第3号議案 令和元年度事業計画(案)
- (4) 第4号議案 令和元年度事業予算(案)
- (5) 第5号議案 役員の改選(案)

9. 閉会の辞

＜平成30年度事業報告＞

1. 総会 平成30年6月2日(土)
三井ガーデンホテル千葉（参加170名）
2. 同窓会報発行・平成31年3月1日
「シャロンの花」第23号発行
3. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動、対外試合、発表会等参観・支援
 - (2) 海外留学引率者支援
 - (3) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観

(4) その他母校支援に該当する案件

＜令和元年度事業計画＞

1. 総会 令和元年5月18日(土)
三井ガーデンホテル千葉
2. 同窓会報発行・令和2年3月1日
「シャロンの花」第24号発行
3. 同窓会・恩師対外発表会等参加支援・顕彰活動
4. 同窓会維持基金、創立100周年記念80周年記念事業基金等募金活動
5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動（関東大会以上出場等）支援
 - (2) 対外 発表会等参観・支援
 - (3) 進路学習支援
 - (4) 海外研修引率者支援
 - (5) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観等
 - (6) その他母校支援に該当する案件
6. 支部発足支援活動
7. その他目的達成に必要な事業
8. 常任理事会(原則隔月第三土曜日開催)
昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画案・予算案が審議されいずれも承認されました。

(2018/04/01～2019/03/31)

平成30年度 同窓会本会計

平成30年度千葉東高等学校同窓会決算書

損益計算書

	科目	金額
収入	平成30年度卒業生入会金(356名)	1,245,460
	平成30年度同窓会維持基金	794,000
	平成30年度同窓会周年基金	877,825
	シャロンの花第22号広告収入	30,000
	総会・懇親会支払差額(収益分)	182,765
収入合計		3,130,050
支出	会議費	11,150
	通信費	57,488
	総会費	25,000
	外注工賃(シャロンの花第23号)	838,281
	祝金	50,000
	学校寄付金	409,340
	雑費	17,547
	荷造運賃	
	支払手数料	
	支出合計	1,408,806
収支合計		1,721,244
その他収入	受取利息	52
	その他収入 合計	52
	剰余金	1,721,296

資産管理表

資産の部		
科目	期首(2018/04/01)	期末(2019/03/31)
現金	4,228	5,752
預金1(本会計)	3,451,804	4,164,786
預金2(周年事業基金)	3,041,367	3,835,412
預金3(基金繰入金会計)	2,148,562	2,148,562
預金4(懇親会)	579,344	792,089
合計	9,225,305	10,946,601
期末-期首		1,721,296

<役員一覧>

名誉会長	渡部 徹	学校長
------	------	-----

役職	氏名	卒業年
会長	山中 操	昭和44年
副会長	石田 定雄	昭和39年
	中村 千枝子	昭和44年
	澤田 繁信	昭和46年
	小川 輝男	昭和50年
書記	小塚 興作	昭和34年
	市原 俊介	平成5年
会計	林 一己	昭和41年
会計監査	別府 健治	昭和50年
	古茶 義男	昭和42年
事務局長	石橋 康郎	昭和52年
	鈴木 英一	昭和46年
常任理事	戸塚 主税	昭和36年
	時田 拓央	昭和38年
	山田 和雄	昭和46年
	小林 丈士	昭和47年
	渡邊 茂通	昭和47年
	高橋 清英	昭和50年
	桃木 みず江	昭和51年
	望月 あけみ	昭和51年
	大木 正人	昭和51年
	上市 善章	昭和54年
	後藤 孝徳	平成2年
	原 慈妙子	平成22年
名誉顧問	永江 栄	昭和21年
顧問	井戸川 浩	昭和34年
	石橋 康郎	昭和52年

令和元年度 懇親会

令和最初の懇親会は、53年卒が幹事を務めます。前年の懇親会に参加した同級生6人が中心となり、できるだけ多くの同級生に連絡できるよう、クラスの幹事役を探しお願いすることから始めました。7月から隔月で飲み会を兼ねた幹事会を開催し、11月に全9クラスの幹事26人が決まり、各自のネットワークで400人中340人に連絡できました。

当日は、同級生131人、全体で180名の参加を得て、山中会長、渡部校長先生、恩師山本先生の挨拶に続き、佐藤先生の乾杯で宴が始まりました。同級生のキリンビール社長布施君からのビールの

差し入れや、当時の懐かしい写真のスライド上映、翌年幹事への樺リレー等大いに盛り上がりました。

また、2次会は、同会場で110人を超える同級生の参加を得て、八海山の鏡開き、スライドの続編や東高の様子を撮影したビデオ上映等、高校生にタイムスリップし、旧交を温めることができました。今回を契機に、クラス会や新たな交流が始まるなど、良いきっかけを与えてくださった東高同窓会に深く感謝いたします。

(S53卒 大木実)



(司会者)



(恩師の先生)



(懇親会の様子)



(2次会の鏡開き)

同窓会会長 山中 操



(昭和44年卒 同窓会会長 山中操)

同窓会名誉会長 渡部 徹(学校長)



千葉東高等学校同窓会の皆様におかれましては、日ごろから本校の教育活動に対し多大なるご理解と協力を賜りまして、心からお礼申し上げる次第です。

昨秋の台風21号由来豪雨の際は帰宅不能となった生徒57名が私を含む職員とともに学校で一夜

を明かしましたが、幸い本校ではこれ以外に重大な人的物的被害は出ませんでした。県下には未だ被害に苦しむ地域もあり、一日も早い復旧復興を祈るばかりです。

さて、令和元年度は同窓会の皆様のご支援により、高い志を持ちつつも様々な理由で進学に不自由を感じている3年次生の支援のため「シャロンの花」奨学金制度を創設していただきました。重ねて深く感謝申し上げます。

本年度も在校生は千葉県教育委員会指定「進学指導重点校」の生徒として学びながら、多数が国公立大学や難関私立大学への進学を果たしながら、職員の丁寧な指導のもと様々な課外活動に盛んに取り組んでおります。千葉大学との協定に基づく基礎教養講座やHOCの順調な運営、東京大学や東京工業大学等をはじめとする各大学・研究機関

との連携講座や理数教育の展開、米国・豪州海外派遣を軸にした国際理解教育の推進、さらにはユネスコスクールの活動やESD教育等、各種取組の相乗効果により未来の我が国を担う優れた人材育成が着実に進んでいる手応えを感じております。

一方、山岳部男女と陸上競技部男子(400m、4×400mR)が全国高等学校総合体育大会(インタハイ、宮崎県・沖縄県)に出場し、陸上男子400mの吉川峻君は見事準優勝に輝きました。全国高等学校総合文化祭(佐賀県)には2年連続の文学部(文芸<俳句>部門)に加え化学部(自然科学部門)が千葉県代表として参加、さらに囲碁同好会は個人戦・団体戦ともに冬の関東大会に2年連続で出場を果たしました。吹奏楽部・マンドリン楽部の定期演奏会(5月)や東雲祭(7月)には多くの方々にお運びいただき好評をいただきました。3月下旬には音楽部のコンサートが控えております。

諸先輩がたが長年にわたり築き上げた、勉学にも部活動にも一生懸命に全力で取り組む「東高魂」は脈々と引き継がれており、校長として喜ばしい限りです。新年度以降も母校に対するますますのご支援をよろしくお願い申し上げます。

私事になりますが、3月末日を以て定年により第一線を退くことになりました。締めくくりの3年間を本校で過ごすことができ本当に幸せです。ありがとうございました。

寄稿 キリンビール社長 布施 孝之

<これまでの経歴について>

昭和53年に千葉東高を卒業し、同年早稲田大学に入学しました。

昭和57年、大学卒業後キリンビール株式会社に入社し、最初の赴任地は神戸支店でした。

入社以来神戸を皮切りに、八王子や東京都心でのビール販売の最前線の営業キャリアを通算20年、その後本社、大阪支社長を経て、2010年に麒麟のグループ企業である小岩井乳業の社長、2015年から麒麟ビールの社長に就任し、現在に至っております。

<経営者として思うこと>

小岩井乳業社長から現在まで10年間、経営トップの役割を担ってきました。

社長とは決して偉い人ではなく、単なる役割だと思っています。

振り返ってみますと、これまでの逆境や苦難のときにこそ経営者としての軸や哲学が形成されてきたと感じています。

人生の大半を占める仕事とは何のためにあるのか？という問いは、人生哲学にも通じるものがあると思います。

私は経営者として会社を取り巻く利害関係者（ステークホルダー）が幸せになるカタチを目指しておりますが、特に働く従業員に幸せで豊かな人生を送ってほしいと考えています。

従業員が会社に誇りを持ち、自分達の仕事は世の中の役に立っている、お客様や地域社会の喜びが我々の喜びであるというマインドや行動が、結果として業績に跳ね返り、お客様や株主も幸せにできるものと考えて日々の経営の舵取りをしています。

<東高時代の思い出>

東高時代はほとんどバレーボール部の部活に明け暮れていたという記憶しかありません。

当時バレー部は、花園での全国大会に出場していたラグビー部のような強豪ではなかったですが、

県大会において少しでも上位に食い込もうと部員と一緒に一生懸命に頑張った毎日の練習や東高の体育館で行った厳しい夏合宿などは記憶に残っています。

このように高校時代は部活中心の生活でしたので勉強熱心ではない生徒でしたが、高校3年の夏の国体が終了した後の半年間は、それまでの遅れを取り戻すべく志望大学であった早稲田大学を目指し、その受験期間だけは必死に勉強をした思い出があります(笑)。

<在校生に思うこと>

高校時代は、その後の人間の幅を広げる上でとても大事な時期だと思います。

スポーツでも勉学でも何か一つのことをやり続けることはその後の人生の自信を植え付けてくれますし、また皆さんの幅を広げる上で、より多くの人、価値観の違う人と出会うことも大切です。

勉学はもちろん重要ですが、小手先の知識よりも高校時代はこれからの人生の礎を作る時期です。高い志や熱意、また素直な心は皆さんを大きく飛躍させる原動力になると確信しています。

在校生の皆さんには無限の可能性が広がります。

失敗を恐れずにその若さを生かして大いにチャレンジをして羽ばたいて欲しいと心より祈念しております。

(昭和53年卒 布施 孝之)



アパマンショップ
お部屋探しはおまかせ下さい!!
アパート・マンションのお部屋探しから賃貸募集、土地建物まで
不動産に関することまで **トータルサポート!!**
千歳不動産情報ナビ
新商品ハウジング
043-263-0842
043-263-0846
043-263-0848

ギャレックスチバ株式会社
代表取締役 澤田繁信(昭46年卒)
千葉市中央区今井3-1-9
TEL 043-261-4528
FAX 043-265-5446
[mail] info@galaxchiba.jp
オリジナルマーキングは当社へ!!

JR京葉線 蘇我駅東口前
不動産のことならおまかせ!!
不動産の売買・仲介
賃貸借・総合管理
ご相談ください!!
おかげ様で
創業55年
堤 清司(昭和53年卒)
三幸商事株式会社
043-263-3535
043(265)4488
〒260-0842
千葉市中央区南町2-17-11
http://www.sanko-shouji.co.jp

野村松三先生クラス会

野村松三先生クラス会

令和元年11月30日(土)、昭和38年度入学、野村松三先生(1年生)クラス会が「ちばぎんクラブ」で開催されました。三々五々、11時30分JR千葉駅集合でした。

50年ぶりの再会となる者が多く、誰が誰か分からず、待ち合わせている雰囲気のある人に「失礼ですが、千葉東のクラス会の・・・」と声をかける状況でした。

開会の初めに、野村松三先生、クラスメイトのご逝去にご冥福をお祈り申し上げます。

幹事挨拶の後、懇親会となりひとり3分から5分の間で東高の思い出と近況報告がされました。抱腹絶倒の話が次々とあり、笑いとおやかな雰囲気に包まれたひと時を過ごしました。

山形・神戸からも参加者があり、本当に楽しい高校生活を過ごして

いたをことを気づかせるクラス会でした。

冬温し名札見せ合うクラス会 (木村行幸記)



困難を糧にして～東雲祭参加報告～

令和最初の東雲祭は7月6日(土)と7日(日)。テーマは「東代無双」、この時代の移り変わりの時に、この上ないもの(無双)を届けようと意気込んで臨んだようだ。

開場と共に多くの来場者が殺到し、特にちょうど映画上映中でもあった「アラジン」は整理券があつという間になくなる程の人気。そんな中で私は一日目に「美女と野獣」「ノートルダムの鐘」、二日目に「エリザベート」「アナと雪の女王」「リトルマーメイド」を観た。またプロかと思う程の歌唱力やダンス能力を持った生徒がいて、聞けば必ずしも音楽部員などその道の人ではないということ。また個人だけでなく、二人でカップを打ち合わせるダンスや全員の合唱など、複数人で息を合わせる場面では、これでもかという位の一枚岩のまとまりを見せていた。それで最終公演を無事終わると、演じる役の人物という非日常から日常に戻るのだが、そこで多くの生徒が感極まって泣き出すなど私にとって在学中に見たのと同様の光景があった。

展示ではまたも学会かと思しき高度な研究発表があり、一方で子供たちにも楽しめるような演示実験を見せていた。音楽部は男子部員の少なさを

カバーして美しいアンサンブルを奏で、吹奏楽部は去年に引き続き野球部応援のスタイルで全体を鼓舞する雰囲気。

今回の東雲祭は、困難を糧にしたという感じ。黄金週間が10連休、更に寸前の土日の大雨の際に安全確保のため学校を閉鎖したことで、準備期間が取りにくく、上演時間の厳守を重視して話が駆け足になったりト書きに任せたり。演劇としての楽しみが若干薄れてしまったところもあったが、彼らは逆に限られた時空間の中でより強く集中して高みを目指し、それにより最後まで最高のものを目指そうとし、自他共に感動を与えるのだ。困難を糧にする東高魂が培われる。東雲祭はそんな重要な場面の一つである。

(平成5年卒 同窓会書記 市原俊介)





夢を追いかける星（音楽部）

音楽部の定演は3月28日。会場が千葉市文化センターに変わり、男声パートで一部賛助を頼るが、それでも我々聴衆を包み込む歌声や心意気は変わらず魅了してくれた。

第1部は聖歌や日本の民謡からなるコンクールなどで歌われる合唱曲が中心で、その響きや言葉を無伴奏で、また一部はピアノ伴奏で聴かせてくれた。第2部は合唱劇「眠れる森の美女」で、美女オーロラ姫が悪い魔法の呪いから逃れて幸せを掴めるよう周りの魔女や召使や動物などが奔走し、最後に隣国の王子と結ばれる夢を叶える。そしてOBが合同しての男声合唱と3年生合唱「星屑の街」を経て第3部「夢を追いかけて」へ展開し、銀河鉄道で出発し、ミュージカルでダンスも含め花開き、応援歌を得て、最後には自らの原点である故郷へと立ち返る、というストーリー。

部長はこの音楽部を星空のようなものと語る。一つ一つの光は小さいが、全て光って明るくなり、いずれ寿命を迎える。あどけなく純粹無垢で生まれ、成熟して実力や周囲の絆を得て、名残を惜しみつつ旅立ち、それぞれの場所で自らの夢を追いかける。

そんな夢を追いかける満点の星と共に、これからも夢を見よう。（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



Shine On!（吹奏楽部）

吹奏楽部定演は5月4日、大きな変化があった。まず長年お世話になった指導者が諸事情で降板し、部員と顧問藤崎先生で指揮を担当したこと。次に第1部も独自の衣装を用意し、更にエンディングでも衣装を用意していたこと。その元指導者から教わり引き継いだDNAが根付き、目一杯輝いていたのだ。

第1部は吹奏楽用に作られた音楽で、アメリカ、スペイン、アルメニア、そして日本と旅するさながら世界旅行。第2部は音楽劇「魔法にかけられて」で、原作



のエッセンスを抽出して演じた。第3部はビッグバンドで始まり、オールドナンバーからノリノリの激しい曲まで、東高ならではのジャズを聴かせる。そしてエンディングでは「ディズニー・アット・ザ・ムービー」などで全員で思いをぶつけて締めくくる。

今回のテーマは、互いを照らし合うという意味。その対象は彼ら部員だけでなく、顧問の先生方や保護者の方々、卒業生や友人その他支えるあらゆる人が含まれる。その中でより良い定演を作ろうと努め、時にぶつかり合いながらも、手作りのサインボードの裏に全員のメッセージを書くなどして連帯感を強めていったのだ。

その照らし合う光は、今後の人生でも続くだろう。OBとしてよく分かる。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）

全員が主役（マンドリン楽部）

マンドリン楽部の定演は5月19日、今時の高校生の嗜好の変化からか、また部員が減少したというが、また例年と同じく直向きな演奏で我々の心を虜にした。

第1部は荘厳なマンドリンオーケストラ曲で、人および他生物の生きた姿を体現したという感じの選曲。第2部はギターアンサンブルで、時に軽快にリズムカルに、時にしっとり。第3部は一年生の劇「人魚姫」、第4部はラグビー部員のコントやダジャレ曲紹介を織り交ぜながら、伝承曲「ひき潮」やその他ポップスやロックなどを華麗に魅せ、また多くの曲で現役部員が編曲を手掛ける。

今回特に痛感したのは、全員が主役という彼らの意識。それは第4部でソロ回しの際に、ソロを奏でる部員を周りの全員が指差して盛り立てる演出で分かった。他の曲でも、主旋律があちこちのパートに回され、ほかに合いの手のような要素も適宜入り、その度に周りのアイコン

タクトが多めに向く。その編曲は時に曲の統一感を崩し、主旋律が聞こえづらく響きのバランスを欠き、雑然と感ずることもあるが、彼らはそうであっても主役というスポットライトを一人一人に当てることにこだわっている。何故なら彼らは一人一人が重要な構成員であり、尊重されているのだから。

全員が主役のこの定演、どの主役に着目しても、直向きで感動する。（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



国際交流米国派遣報告

第40回日米高等学校交流プログラムは、2019年3月14日（木）から3月25日（月）の日程でおこないました。英語科の加藤雅彦教諭とともに、生徒16名（男子6名、女子10名）を引率しました。主な研修内容は3日間のニューヨーク観光、1人1家庭のホームステイ、クラークストン中学校・高校で日本文化についてのプレゼンテーションと現地での授業参加でした。研修の目的は、異国の地で英語によるコミュニケーション能力を養うとともに、現地の高校との交流を通して異文化理解を深め、グローバル人材を養うことです。

そのうち本研修参加生徒の多くが英語でのコミュニケーション力向上を目的の1つとしていました。クラークストンでのホームステイが始まった当初、日本語の話せないホストとの生活に緊張や不安を抱え表情を暗くする生徒が多かったです。しかし、悩んでいることも束の間で、アメリカ人のオープンでフレンドリーな性格に、次第に生徒の表情が緩んでいくのがわかりました。生徒も、必死に考えを伝えようと頭を悩ませましたが、英語が通じた時には嬉しそうな表情をうかべていました。現地校でのプレゼンでは、日本のことば、グッズ、行事、漫画、日米比較と6つの題で生徒は日本文化を紹介しました。アメリカ人の授業への積極性、

反応の良さに発表も盛り上がりを見せ、生徒の英語への自信につながったと思っています。空き時間でも、ホストの生徒に自ら声をかけ、それぞれが興味のある授業を受け、次から次に吸収して積極的に学ぼうという姿勢が印象的でした。

本研修の交流を通じて、築き上げた友人関係、学んだ英語、ものの考え方、生活、異文化、コミュニケーションへの葛藤全てが生徒にとって貴重な体験になりました。生徒は帰国してからというもの、自身の英語力に課題を感じているものも多く、より一層英語の勉強に今現在励んでいるところです。同窓会のみなさまにおかれましては、多大なるご支援をいただき感謝申しあげます。

今後とも、千葉東高生のグローバル人材育成に尽力して参りたいと思います。

（引率教諭 河崎歩）



国際交流豪州派遣報告

平成31年3月14日から3月23日の10日間に渡り、西原ふみの教諭（家庭科）との引率の元、生徒24名（男子7名、女子17名）が豪州高校交流プログラムに参加しました。

シドニー観光の後、ホームステイをしながらパシフィックヒルズクリスチャン高校の授業で、ESLを受講したり、日豪比較文化紹介のプレゼンテーションを行ったりしました。生徒はホストファミリーや現地高校生たちと交流を深めました。

生徒にとって特に良い経験となったのが、現地の高校で出会った同世代のバディとの時間です。出会うやいなや打ち解け、男子は流行っているゲームやアニメの話題に花が咲き、女子は好きな歌手の話をしたり制服を交換して写真を撮り合ったりで、大盛り上がりになりました。



英語を学習しているとはいえ、生徒の英語力はまだまだ十分とはいえません。しかし、私達は彼らの間に、言葉の壁を全く感じるこ

とができませんでした。英語はもちろん、ジェスチャーや「ノリ」を駆使しながら意思疎通を図っている生徒に、我々はただただ感心するばかり。

若者の力は無限大です。生徒は現地高校で出会った友人達と、かけがえのない時間を過ごすことができました。

同窓会の皆様におかれましては、日頃多大な支援を賜り、感謝申し上げます。豪州研修に参加した生徒は、貴重な経験を糧に現在もおのおのが目標に向かって尽力しているところです。

今度とも千葉東高校が一丸となって次世代を生きる力を育て参りたいと存じます。

（引率教諭 浅野洋之）



進路指導について

進学実績の推移と東高ホットニュース

進路指導主事 倉内博幸

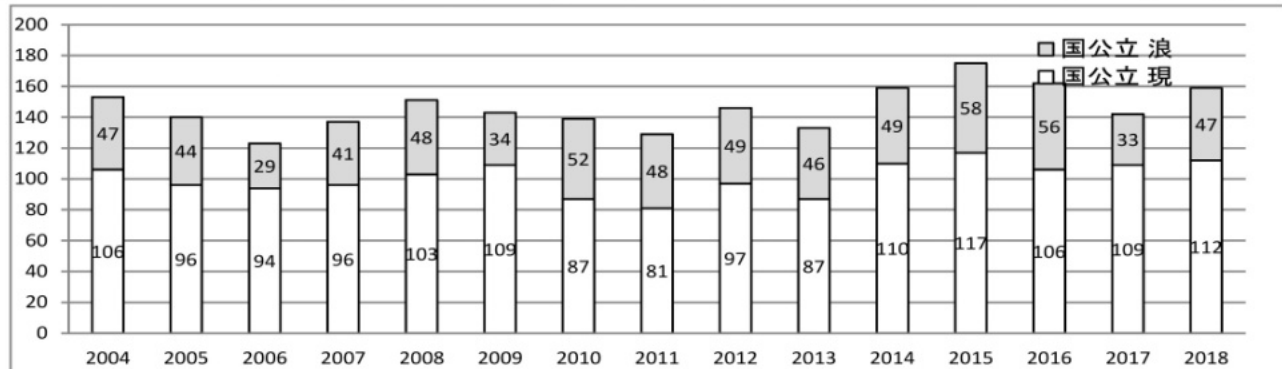
1. 進学実績の推移について

平成16年度に県教委指定の「進学指導重点校」としてスタートして以来、現在に至るまでの進学実績です。まだまだ伸びるはずです。現状に決して満足せずに更なる躍進を！

種別	現役受験生の 3年次年度	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30
国公立	現	106	96	94	96	103	109	87	81	97	87	110	117	106	109	112
	浪	47	44	29	41	48	34	52	48	49	46	49	58	56	33	47
	計	153	140	123	137	151	143	139	129	146	133	159	175	162	142	159

国公立 一部抜粋	東京	現	2	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	1	2
		浪	0	0	0	3	1	1	0	1	2	2	1	0	3	0
		計	2	1	0	4	1	1	2	1	2	2	1	1	4	2
	京都	現	0	0	1	0	0	4	0	1	1	2	1	1	0	1
		浪	0	1	0	0	1	0	1	3	1	2	1	1	0	0
		計	0	1	1	0	1	4	1	4	2	4	2	2	0	1
	東北	現	1	5	1	3	4	10	4	1	3	3	9	6	5	2
		浪	1	5	1	0	2	2	5	1	5	3	7	6	5	1
		計	2	10	2	3	6	12	9	2	8	6	16	12	10	3
	一橋	現	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	3	1	4	0
		浪	0	0	0	1	1	2	3	0	1	0	1	0	1	0
		計	0	0	0	1	1	4	3	0	1	2	4	1	5	0
	東工	現	3	3	1	2	1	2	3	2	1	3	2	4	3	3
		浪	1	4	1	2	3	1	0	2	1	1	1	0	5	2
		計	4	7	2	4	4	3	3	4	2	4	3	4	8	5
	筑波	現	4	5	11	8	8	7	3	8	5	5	6	7	10	6
		浪	4	5	0	0	1	2	2	2	6	1	3	0	3	2
		計	8	10	11	8	9	9	5	10	11	6	9	7	13	8
	千葉	現	46	36	49	38	48	36	26	35	45	32	46	45	48	43
		浪	18	7	6	11	13	15	8	14	13	8	12	17	13	10
		計	64	43	55	49	61	51	34	49	58	40	58	62	61	53
上記国立合計		80	72	71	69	83	84	57	70	84	64	93	89	101	74	83

私立 一部抜粋	早稲田	現	28	35	27	31	51	31	34	25	34	28	35	48	54	33
		浪	42	27	18	17	24	29	24	25	29	11	18	17	21	16
		計	70	62	45	48	75	60	58	50	63	39	53	65	75	49
	慶応	現	12	16	12	4	20	9	17	4	20	13	11	15	17	6
		浪	14	10	4	8	14	7	10	12	13	10	11	13	16	5
		計	26	26	16	12	34	16	27	16	33	23	22	28	33	11
早慶合計		96	88	61	60	109	76	85	66	96	62	75	93	108	60	75



2. 東高ホットニュース (今年度版)

東高ホットニュース その1

1. 本校卒業生は大学進学後も頑張っています。

★A君(平成26年度卒)

東北大学工学部電気情報理工学科に進学

2019年3月 東北大学総長賞 受賞

★Bさん(平成26年度卒)

慶應義塾大学商学部に進学

2019年3月 慶應義塾大学商学部を首席で卒業

★C君(平成25年度卒)

東北大学工学部建築・社会環境工学科に進学

2019年3月 東北大学工学部賞 受賞

東高ホットニュース その2

★Dさん(平成29年度卒)

日本女子大学理学部物質生物科学科に進学

2019年度学業成績優秀賞・研究奨励賞 受賞

2. 東高何でもランキング

1) 国公立大医学部に強い高校ランキング

関東地区 61位

2) 難関大合格者10年で伸びたベスト500校

国立大 全国58位

私立大 関東・甲信越地区100位

3) 国公立大 現役合格者数・進学率

千葉県内(私立含む) 合格者数3位 進学率4位

東高ホットニュース その3

4) 都道府県別「大学合格力」高校ランキング

千葉県内(私立含む) 4位

3. 番外編

★Eさん(平成30年度卒)

2019. 4. 12某国立大学の入学式当日

マスコミのインタビューに対しての回答

幅広い教養を身に付けて

日本を支えていけるような人間に
なりたいです。

野球部OB会 令和元年度 報告

野球部OB会 令和元年度報告

<新年会>

平成31年1月19日(土) 18:00～

新年会は藤代会長その他、OB19名、濱井(元監督・元高野連会長)、畠山部長、藤岡保護者会会長、石崎保護者会副会長の24名が出席して開催されました。

冒頭に訃報が紹介され、全OB会長・共田竜二先輩(S32)、金子直貴先輩(S46)、内山秀一先輩(S47)が亡くなられ、黙祷を捧げました。

懇親会は藤代会長、畠山部長、藤井保護者会会長の挨拶のあと、安西副会長(H4)の乾杯で和やかに懇談しました。今回は、今年成人式を迎えた平成29年度卒業の鶴澤君・三橋君・齋藤君・水内君の出席があり、藤代会長からOB野球大会用の帽子が贈呈され、今後の野球大会への戦力として期待されました。

会の終わりに深谷理事(H4)の締めの挨拶、一本締めで閉会しました。

<総会>

令和元年6月8日(土) 18:00～

京成ホテル・ミラマーレにて開催。

総会には藤代会長のほか代議員13名が出席して開催されました。昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業案・予算案について審議され、いずれも承認されました。

議事が終了した後、曾山君(S55)から現役・OBの活動をもっと活発にするため、伝統校との「定期戦」を計画したり、インターネットを活用してはどうかと提案があり、様々な問題点などを検討した上で、検討していくことが了承されました。

総会に引き続いて開催された懇親会には飯生監督、畠山部長、保護者会から藤岡会長・石崎副会長にご臨席いただき、藤代会長(S45)の挨拶から始まり、飯生監督、保護者会・藤岡会長から挨拶をいただき、宮川先輩(S39)の乾杯の発声後、和やかに歓談し、関先輩(S37)の挨拶、一本締めで終了しました。

こうした懇親会にも是非若い世代の方の出席を期待しております。(学生の会員には  会費の補助をお出しすることになりました。)

- ・第41回千葉県高校野球OB野球大会
今年度のOB野球大会・1回戦は7月

28日(日)に千葉商業高校のグラウンドで千葉敬愛高校

と対戦が予定されていましたが、台風の影響で8月4日に順延。君津商業高校のグラウンドでの対戦になりました。

1回表、先発の安西投手(H4)が0点におさえ、上々の滑り出し。その裏、鈴木君(H26)  宮本君(H26)の連打で作ったチャンスを高羽君(H29)・安西君の連打で3点を先取。

3回に追いつかれ、しかも5回には満塁本塁打を含む6点を奪われ、劣勢に立たされましたが、その裏、5本のヒットを集めて8点を返して11-9と再び2点のリード。

しかし、5回・6回に4点、2点と奪われ、何とか反撃を試みましたが、6回裏に1点を返すにとどまり、OB大会ルール・2時間を超えたら新しいイニングに入らない、によって今年は12-15で1回戦敗退となりました。

今回は久しぶりに濱井元監督も参加して下さったほか、初参加の佐野君(H5)・萩田君(H26)の活躍もありました。総勢20名の参加でした。

次回もまた若い世代を中心に是非、参加をお願いします。

・OB親善ゴルフ大会の結果(敬称略)

団体戦14位 (24校中)

個人戦39位 濱井 清之(元監督・元高野連会長)(H5)

40位 池田 哲也(H5)

100位 高橋 克弘(H5)

※文中の()内は卒業年度

(文責:昭和51年卒・高橋敏行)



東高マンドリン楽部を支え続けて50年高野勲氏(S47.3 卒)インタビュー

東高を代表する部活動の一つ、マンドリン楽部。 <渡部校長>

高野勲氏は東高から明治大学に進み、同大マンドリン倶楽部で活動しながらOBとして東高の後輩にマンドリン演奏の技術指導を始め、現在まで50年近く継続。指導は指揮にまで及ぶ。またマンドリン楽部が定期演奏会で奏でる曲の殆どが高野氏の編曲による。都内の税理士事務所に勤務する傍らこれまで関わり続けた本校マンドリン楽部への思いなどを伺った。

インタビューは渡部徹校長。渡部氏は千葉県高等学校文化連盟会長として県内の高等学校文化部の活動推進を図るだけでなく、全国の高文連事業に携わる。

<渡部校長>

高野さんが本校マンドリン楽部の指導に来られるようになったいきさつから教えてください。

<高野氏>

私自身マンドリンの10期生くらいなんです、明大に入り、マンドリン倶楽部で演奏していた曲が東高のものと似通っていて、大学ではプロの譜面を使っていたのでそれを持って東高に指導に来たのが始まりです。東高はしかしそこからどんどん変わって行って、楽器編成はマンドリンだけでなく電気楽器も入り、明大よりも進化している感じです。曲のジャンルも多彩です。譜面をもらったときに生徒の期待通りのものが作れるか真剣勝負です。つまらないものだとは頼んでももらえないんじゃないかと。一緒にやっていて本当に楽しいです。

<渡部校長>

指導を50年近く継続されているモチベーションはどこにありますか。

<高野氏>

私の場合、とにかく楽しいのです。部員が代わると出来てくる曲も変わってきます。誰もが中学では未経験なので、東高に入学して真っ新な状態から創っていく感じです。正味2年の間にびっくりするほど成長するのです。年に何回か、みんなの音がピタッと合うときがあります。それは感動であり、喜びを共有できる瞬間です。

5月の定演が終わると6月に新メンバーから挨拶のメールが届きます。指揮者になりましたのでよろしくお願いしますと言った具合です。これを見て、ああ来年も指導できるんだと思うのです。

また私だけでなく、多くの卒業生が後輩の指導に当たってくれていることも大変心強いです。

外部から見続けていて、東高の生徒はどのように変わりましたか。また高校生の指導を継続するのに、気を遣うこと、大変だと思うことはありませんか。

<高野氏>

最終的には同じように成長していくように感じますが、今の生徒は興味の幅が広がっているように思います。そしてその分、時間の使い方が上手くなっているようにも思います。いろいろな制約の中で部活動をやっている。生徒にはこうあるべきだと言うことは伝えているつもりですが、命題を出す自分たちなりにやろうと努力しています。そしていい定演ができあがるわけで、本当に素晴らしいことだと思います。

<渡部校長>

本校は来年創立80年を迎える伝統校です。現役生に何かメッセージを贈っていただけますか。

<高野氏>

私は音楽を通して人と人とのコミュニケーションを学んでほしいと思っています。それは決めたテンポに合わせて一つの形にするといいものではなく、一人が弾いたものに同調させて弾く、みんながそれぞれの思いを込めて。自分が伝えたい人、伝えたいメロディーを考えて弾く。上手いくとそこに太い綱が出来て、メンバーがそれを分かると一段と楽しい音楽を共有できる、そんな合奏、部活動を継続して行ってほしいと願っています。

<渡部校長>

今日は有意義なお話を伺え、大変良かったと思います。有難うございました。今後も後輩のご指導をよろしくお願いします。

二人の対談は東高の「受け継いできた文化」に及びましたが、字数の都合でインタビューの概要をまとめたものになってしまいました。ご容赦ください。

(文責 S50.3 卒 高橋清英)。



2019 漕書展開催される！

漕展2019が10月22日～27日まで、こみなと稲毛ギャラリーで6名の参加者で開かれた。漢字・かな・漢字かな交りの書と多様な分野で、一人当たり5～6点の大小作品が展示された。また、今回は参加者の書作の様子がビデオで放映され、好評裏に終了した。

(41年卒 林 一巳)

写真 石井 白井

湯浅 林(一) 林(破) 中村



昭和33年卒同窓会

千葉東高(33年卒)第9回同期会を令和元年10月23日(水)の14時00分～16時30分の時間で、京成ホテル「カサブランカ」で行いました。

当日の参加人数は30名でした。

当日の内容は、海老名基氏(4組)の記念写真撮影後(写真は駅ビルにてプリントし帰りに手渡せた。)藤井忠氏(7組)の司会で、森正彦氏(4組)の開会宣言、幹事の挨拶、古屋直樹氏(3組)の乾杯と続き、懇談に入り、途中、浜島勇氏(7組)のハーモニカ伴奏で懐かしい歌を歌った後、高校時代の昔話と薬・病気の話に時が過ぎ、村杉芳男氏(1組)の指揮で校歌を斉唱し、山本勇祐氏(2組)の閉会の言葉で80才の同期会を閉じた。

(昭和33年卒 遠山 有孝)



千葉東高(33卒)第9回同期会

2019年10月23日(水)

ご案内

<同窓会からのお知らせ>

・基金の支払の方法について【ゆうちょの振替口座 00160-8-148932】

コンビニで支払いができる振込用紙をセットしました。金額は固定(4,000円)になりますが、郵便局でもコンビニでも同窓会への寄付金の支払いができます。同窓会の維持の為に皆様のご協力をよろしくお願いします。固定金額以外は、郵貯の振込用紙に記入して振込をお願いします。

(同窓会活動維持基金 1口 2,000円 創立100周年記念80周年記念事業基金 1口 2,000円)

<編集後記>

この度、「シャロンの花奨学金」を創設しました。3名の受験生に一人7万円を受験費用として配布することになりました。昨年も学校の推薦を経て同窓会の理事会で承認して無事に奨学金を渡すことができました。総会・懇親会時に奨学金の寄付を募りその中から出すことができました。ご協力ありがとうございました。来年以降も継続していく予定です。

また、2021年(令和3年)は創立80周年記念事業を企画しています。現在、学校・PTAと相談して運営組織を作成する段階になりました。こちらのほうもご協力をよろしくお願いします。

(編集委員)